

高杉晋作「高杉晋作書簡」(『亡友帖』より)

慶応元(18)

65)年頃

はいしやうたてまつりそうろう奉拝誦候、掛物にわか慥に落領仕候。過日は遠方御来らいじょうかたじけなくたしやたてまつり

杖辱 奉多謝候。其節は

おそれりたてまつり

激論申述 奉恐入候、病客は

気短にて兎角失敬。とかくくだされ御許容被下候様 奉頼候。為国くにのためたのみたてまつりの狂言と御恕心所祈じょしんいのるところに御座候。航蔵氏えいざうえも宜敷の儀、■ ■ ■ ■孰れはいほうばんるこれあるべく

拝鳳万縷可有之。貴答

迄匆々頓首。

十六日

谷

石田様

貴報